

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業（継続）

【平成24年度概算決定額 5,530,381（5,530,381）千円】

事業のポイント

人工林資源を有効活用し、国産材の安定供給に必要な、間伐や道づくり等を効率的に行える現場技能者を段階的かつ体系的に育成します。

<背景／課題>

「新成長戦略」に掲げられた森林・林業の再生に必要な人材育成のうち、フォレスター・森林施業プランナーが描いた地域の森林づくりのビジョンに基づき、間伐や道づくり等を効率的に行える現場技能者を段階的かつ体系的に育成することが重要です。

政策目標

○平成27年度までに現場管理責任者等1,800人を育成

○平成25年度までに森林作業道作設オペレーター1,500人を育成

<内容>

1. 新規就業者の確保・育成・キャリアアップ

就業希望者を雇用して行う以下の研修等に必要な経費を支援します。

- ① 林業への新規就業者の確保に向けた就業体験やガイダンス、作業実態等の理解を図るためのトライアル雇用（規模：300人）
- ② 林業経験のない方が基本的な技術を習得するための3年間のOJT研修（規模：3,400人）等
- ③ 現場管理責任者等に必要な知識・技術を習得するためのキャリアアップ研修（規模：300人）

※ 研修生1人当たり9万円/月等を助成（①のトライアル雇用は3ヶ月、②のOJT研修は1年目8ヶ月、2、3年目6ヶ月を上限）。

2. 森林作業道作設オペレーターの育成

丈夫で簡易な森林作業道を作設するオペレーターを育成するための研修（規模：920人）の実施に必要な経費を支援します。

<補助率>

定額

<事業実施主体>

民間団体（公募）

<事業実施期間>

- 1 平成23年度～平成27年度（5年間）
- 2 平成23年度～平成25年度（3年間）

[担当課：林野庁経営課、研究・保全課]